

講義コード	1165	科目区分	社会福祉士関連科目
(フリガナ)	シュロウシエン	(フリガナ)	サカモトヒデヤス
授業科目名	就労支援	担当教員名	坂本秀泰
英文授業科目名	Job assistance services		
基準年次(開講期)	2年次(後期)	履修形態	
曜日/時限/講義室	水曜日/5時限/314教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	7回の授業
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	障害者、低所得者、ジョブコーチ、トライアル雇用		
授業概要・目的	それぞれの人々が、その適正と能力に応じた職業に就き、その職業に生きがいを感じて充実した毎日を過ごすことはどんなに素晴らしいことでしょう。しかし、現実問題では多くの障害者の方々が働く場を求めており、障害者雇用も依然として厳しい状況が続いている。そのような状況の中、近年、「障害者自立支援法」が施行されたこと等により「福祉から雇用へ」の流れが活発になり、今後ますます、進んでいくものと思われます。本講では、就労支援をソーシャルワーカーとしての役割を中心に学ぶ。		
到達度評価の 評価項目	本講義のテーマは、「今日の状況」を的確に把握することである。内容の「暗記」ではなく、自己で「考えて、発展させる力」を養い、また、それを言語化・文章化し、問題の自覚をすることを到達目標とする。また、ソーシャルワーカーの視点を持つことの必要性を自覚し、ソーシャルワーク実習・国家試験に向けて「就労」「支援」ということのイメージを確立できるようにする。		
授業計画			
第1回	働くことの意味と社会福祉士の役割		
第2回	雇用・就労の動向と施策		
第3回	障害者と就労支援		
第4回	低所得者と就労支援		
第5回	専門職の役割と実際		
第6回	就労支援の連携と実際		
第7回	さまざまな働き方の支援・まとめ		
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
教科書・参考書等	新・社会福祉士養成講座18「就労支援サービス」 編集 社会福祉士養成講座編集委員会 参考書: 適宜紹介します。		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	レポート課題を課す場合もある。		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等	基本的には出席率・試験にて評価を行う。社会福祉士国家試験科目であるため、原則として欠席は認めない。		
メッセージ	2年次配当科目であるため、就労支援という言葉に対してイメージがわきにくいと思います。しっかりと基礎科目を学び、受講する目的を明確にしておくことを望みます。※社会福祉士国家試験出題科目です。(4年生の受講も可)		
オフィス・アワー			
その他			